

結党宣言

現行の地方自治法が施行されて74年。

三位一体改革や地方分権一括法等、度々「地域主権」が唱えられてきたが、変わるこ
とのない中央集権体制の下、特徴のない金太郎飴のような町が増え、地方の良さは薄
れるばかりである。

国が何かをしてくれるだろうと、ぬるま湯に浸かりきっている地域は今後淘汰されて
いく事になるだろう。

生き残るためには、中央集権体制から脱却しなければならない。

私たちの地域にあった体制・システムに変革できるかどうかであり、
上意下達の既存政党にはそれを成し遂げることは不可能である。

昭和29年の市政施行以来、高度経済成長を背景に急速な都市化が進み、昭和40年代
から50年代にかけて全国でも稀に見る人口増加を経験してきた相模原市。

旧津久井郡との合併を経て平成22年4月、全国で19番目となる政令指定都市へ移行
した。

しかし、政令市移行から10年が経過した今も尚、暮らしの豊かさや地域の発展を
実感できていない市民の声は高まり続けている。

確かに、多様な施設の更新時期を一斉に迎える令和の時代、

公共の役割を見直すことは喫緊の課題であるが、

財政の厳しさばかりが強調され、緊縮・縮小一辺倒の夢なき政治に、本来主役である
はずの市民は不在となり、官僚主導、中央ありき、一部の既得権益者によって政が行
われている。

その古い政治に変革をもたらし、先人たちに恥じない未来に拓かれた責任政治を実現
するのが、私たちの使命である。

夢なき政治に未来への道はなし。

私たちは、夢ある未来を描き、その実現の為に知恵を出し合い、議論を尽くし、努力
を惜しまない政治文化を創り上げる。

そして、市民と共に改革の道へ突き進む強い決意の下、

未来のさがみはらを築く責任政党「地域政党さがみはら」の結成を
ここに宣言する。

綱 領

私たちは、既成の上意下達の政党政治とは一線を画し、国が何かをしてくれるだろう、誰かがいつかやってくれるだろうと言う地方政治典型の無責任・依存体質から脱却し、先導者たる気概を持って、一部の既得権益に媚びず、怯まず、「市民すべての人が主役」の新しい政治を目指す。

私たちは、旧態依然の行政と議会、議員同士の馴れ合いの政治とは決別し、自立した真の政策集団として、私たちの地域を、私たちの知恵や努力によって持続可能な開かれた都市へと導いて行く。

そして、誰もが選挙に行きたくなるような政治に徹することが、私たちの使命である。

- (1) 民のかまどの精神に倣い、市民の暮らしを最優先とし、市民に痛みを押し付ける前に、為政者のあるべき姿として自らの身を切る改革を実行する。
- (2) 二元代表制の一方の一員として、首長・行政に対しては是々非々の姿勢で臨み、納税者が納得できる議会活動に徹すると共に、私たち独自の提言を行うことを旨とする。
- (3) 広く会議等を興し、すべての政治を民衆の意見によって行い、既得権益には囚われない。選挙権のない次世代の声にも真摯に耳を傾け、政策に反映させ実現を目指す。
- (4) 現行法の大都市に位置付けられている指定都市と言えども、最優先は基礎自治体の本文である人への投資である。
福祉・医療・教育・安心・安全等に係る住民サービスの向上こそが基礎自治体の第一義的な役割である。
- (5) 令和型統治機構の最終形態を国・基礎自治体で構成する2層制と位置づけ、基礎自治体への地方分権を積極的に推進する。
全国唯一、県内に三つの政令市を抱える神奈川県において、段階的に指定都市選出の県議会議員廃止を目指す。

地域政党さがみはら

基本政策

大転換プラン

[行財政改革]

リビルド2

[区割り再編 2区制へ水源区創設]

ファイアー15

[議員定数削減]

リミット70

[議員の定年制導入]

SAGAMIHARAラッシュプラン

[経済・雇用政策]

自立した
相模原経済圏の確立

新産業の創出

あつまれさがみはらプラン

[定住化促進政策]

安全で安心な、
災害に強い街づくり

作ろう、子どもの成長を
応援する社会

守ろう、健康で楽しめる暮らし

連携で強まる住民自治